

JP労組近畿退職者の会

第10回地方総会 議案

JP労組近畿退職者の会は、7月30日に地方総会を開催します。

については活動計画案（抜粋）を周知します。



一、はじめに

本年正月、能登半島地震が発生し「お正月ムード」が一変しました。震災は多くの尊い命を奪い、今なお被災した人々の暮らしは回復していません、心よりお見舞いを申し上げます。

私たちを取り巻く世界情勢は、出口の見えない“ウクライナ侵攻”や“ガザ侵攻”と世界中で平和が脅かされ、国内においては、岸田政権によって国会と民意を無視した政治が行われています。

足元では長引く円安や物価高の影響により、私たちの暮らしは深刻さを増しています、高齢者を取り巻く環境はさらに厳し

くなると思われます。

そんな中、自民党の裏金問題は実態解明には程遠く、政治資金規正法改正にも本気度が見えず到底容認できません。今こそまっとうな政治を取り戻さなくてはなりません。

については、年内にも予想される解散総選挙、そして来年の第27回参議院議員選挙についても全力で臨み、働く者・生活者のための政治の実現に取り組みます。

二、活動の基本的な考え方

本年、退職者の会設立から10年を迎えますが、これまでの活動を踏襲することとします。

また、近畿においては本年4月より「新たな協力会員制度」の運用がスタートすることになりますが、この制度改正を会員拡大のチャンスと積極的に捉えて、現職支部とも連携して取り組むこととします。

三、会員拡大の取り組み

JP労組退職者の会の近畿における組織数は4029名（本年4月の正会員）と減少をきたしています。

これらの縮小傾向を乗り越えるため「新たな協力会員制度」の運用を次世代に繋がる会員拡大のチャンスと捉えて、現職支部とも連携して取り組むこととします。



近畿においては、新たな制度のもと登録される協力会員（60歳から64歳の正社員組合員）1171名が見込まれます。

については現職支部と連携して新たな協力会員に制度と退職者の会について周知し、参画を働きかけます。

また、役員経験のある協力会員等を退職者の会役員として加わっていただき世代交代を促進する必要があると考えます。

四、組織機能のレベルアップ

シエンダー課題は平等な社会実現のための基本であり、JP労組の基本目標である「男女共同参画社会の実現」のため重要です。女性参画については「第11回全国総会（25年）

までに女性役員が増えるよう環境整備を図ることになります。」とされておられ、近畿においても中央幹事会の議論を注視しつつ具体的議論を進めることとしています。

なお、回計画案では「女性会員が集まり、交流する場を、地方、連協、支部で企画し、女性会員が参画する機会を増やすよう努めます。」とされています。近畿においても取り組むための検討を行います。

退職者にとっても全ての職場で働く労働者の回結は重要ですが、エリア局退職者の加入について現状は都市部を中心にエリア局退職者の加入は進んでいません。本来の理想は、所属局所・会社に関わらず現職支部の形態と同じく地域の支部退職者の会に加入していくことが望ましいと考えています。

しかしながら、課題としてはエリア局組合員のＪＰ労組への帰属意識の低さ故に退職者の会加入が進まないと思われ、よって退職者の会としては、現職執行部と課題を認識共有し、核と成り得る協力会員と繋いでいただき参加を呼び掛けることが重要と考えます。

#### 五、政治改革への取り組み

岸田内閣が発足して約3年が過ぎましたが、“防衛費増額”“辺野古基地問

題”“裏金疑惑対応”などに見られるように、民意をないがしろにする政治姿勢が続いています。この間、歴史的な円安の影響により、株価と物価は上がるばかりで、私たち国民の暮らしは疲弊するばかりです。

このままでは、私たち高齢者の生活はもとより“いのち”と“暮らし”を守る政治は実現しません、平和と民主主義を守ることも危ぶまれます。このような政治環境の転換をはかるため“働く者・生活者”の視点で誰もが安心できる社会づくりのため、再びの政権交代が必要です。



去る4月28日投開票の衆議院の3補選においては、最早、国民の怒りは頂点に達し自民党の全敗に繋がったと考えます。私たちは今こそ、この怒りを結集し

て政権交代を実現し、政治を国民・生活者の手に取り戻し、まっとうな政治を回復しなければなりません。

については、来たる解散総選挙に備え、また小沢まさひと参議院議員の2期目の挑戦となる第27回参議院議員選挙に向けて、私たち退職者はＪＰ労組現職と連携して最大限の応援をしていきます。

.....

 **JP共済生協** カーライフを応援する、頼れる補償  
日本郵政グループ労働者共済生活協同組合 **マイカー共済** 自動車総合補償共済

### こんなお悩みはありませんか？

- 自家用車を子供に譲ったので保険の名変は？
- 免許を返納したが、等級を家族に引き継ぎたい？



セカンドカー割引、名変、車両入れ替え、等級引継ぎのご相談は  
JP共済生協(ポストライフ)近畿地方部まで  
TEL 06-6944-1158